

資料 1

**三木市手話施策事業実施報告書  
(令和5年度)  
詳細説明**

令和6年5月31日(金)  
三木市役所 2階 入札室  
10:00~

# 三木市共に生きる手話言語条例

## 条例のねらい

### ●基本理念●

ろう者が自立した日常生活を営み、全ての市民と相互に人格と個性を尊重しあいながら、心豊かに共生することができる地域社会の実現を目指し、手話を使用しやすい環境を構築するものとします。

### ●市の責務●

市は、基本理念に基づき、施策を実施します。

### ●市民の責務●

手話及び聴覚障害に対する理解を深めるとともに、市が実施する施策に協力するよう努めます。

### ●事業者の責務●

手話を必要とする者が利用しやすいサービスを提供し、手話を必要とする者が働きやすい環境を整備するよう努めます。

## 1 施策の推進方針の目的

地域に手話を普及し、聴覚障害に対する理解を広げることで、全ての市民の人格と個性が尊重され、自分らしく豊かに暮らすことのできるまちを実現するため、具体的な方策を講じることを目的とする。

## 2 具体的な推進方策

	推進方策	推進方針	計画
(1)	手話及び聴覚障害に対する <b>理解の促進</b> を図るための施策	ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う。	①②③ P7~ P14
	(手話条例第3条第1項第1号)	イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。	④⑤⑥ ⑦ P15~ P19
(2)	市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策 (手話条例第3条第1項第2号)	ア 市の行事等に積極的に手話通訳者等を派遣する。	⑧ P20

	推進方策	推進方針	計画
(2)	市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策	ウ 小学校、中学校、特別支援学校において、子どもたちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する。	⑫⑬⑭ P24～ P25
	(手話条例第3条第1項第2号)	エ 市内の事業所等において、手話に関する理解が深まるよう、チラシの配布や事業所等が行う手話講習会等の開催を推進し、支援する。	⑮ P25
(3)	手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策	ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する。	⑯⑰⑱ ⑲⑳㉑ ㉒㉓ P26～ P34
	(手話条例第3条第1項第3号)	イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成する。	㉔㉕ P34
(4)	市長が必要と認める施策	その他	⑳㉑㉒ ㉓㉔ P35～ P40

三木市手話施策推進会議において、各施策の実施状況を検証し、必要に応じて見直しを行う。

# 目次

## (1) 手話及び聴覚障害に対する理解の促進を図るための施策

ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う。

- ①広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
- ②ユニバーサル動画の配信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- ③手話啓発に関するポスターを募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14

イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。

- ④手話まつりを開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
- ⑤ブルーライトアップにて啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P17
- ⑥絵本の読みかたり『手話でみんなのおはなし会』開催・・・・・・・・P18
- ⑦市民向け手話啓発講座の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

## (2) 市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策

ア 市の行事等に手話通訳者を派遣

- ⑧市が主催する行事等に手話通訳者を派遣・・・・・・・・・・・・・・P20

イ 市役所等で、手話が使いやすい環境づくりを進めるため、市職員に対する手話に関する講習会を実施する

- ⑨消防署員向け手話研修会を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P21
- ⑩市職員向けに啓発講座等を実施する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22
- ⑪市職員が手話検定取得を目指す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22

ウ 小学校・中学校・特別支援学校において、子供たちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する

- ⑫小学校・中学校・特別支援学校の児童及び生徒に対し手話学習を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P24
- ⑬小学校・中学校・特別支援学校の教職員に対し研修会を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P25
- ⑭市内の高等学校の生徒に対し手話学習を実施・・・・・・・・・・・・・・P25

エ 市内の事業所等において、手話に関する理解が深まるよう、チラシの配布や事業所などが行う手話講習会の開催を推進し、支援する

- ⑮事業所に対し手話啓発講座を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P25

# 目次

---

## (3) 手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策

### ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する

- ⑯設置手話通訳者の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
- ⑰登録手話通訳者・要約筆記者の登録数を増やす・・・・・・・・ P27
- ⑱手話奉仕員養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ P27
- ⑲手話奉仕員養成講座の講師養成・・・・・・・・・・・・ P27
- ⑳手話通訳者養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・ P28
- ㉑要約筆記者養成講座の開催・・・・・・・・・・・・・・ P32
- ㉒登録手話通訳者の知識・技術の向上・・・・・・・・・・・・ P33

### イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成

- ㉓絵本の読みかたり実施者を支援・育成・・・・・・・・・・・・ P34
- ㉔啓発講座等の指導者を育成・・・・・・・・・・・・・・ P34
- ㉕啓発講座等の指導者研修・・・・・・・・・・・・・・ P34

## (4) その他

- ㉖手話で本を楽しむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P35
- ㉗遠隔手話通訳サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P35
- ㉘NET119登録説明会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P36
- ㉙「市政一直線」の動画を手話と字幕で放送・・・・・・・・ P36
- ㉚ひょうごTECHイノベーションプロジェクト・・・・・・・・ P37

## (1) 手話及び聴覚障害に対する理解の促進を図るための施策

### (手話条例第3条第1項第1号)

- ア 手話が言語として認知され、聴覚障害についての市民の理解が深まるよう、市の広報紙やパンフレット等により啓発を行う

#### ①広報活動

##### <令和5年度の実施状況>

- 手話奉仕員養成講座、手話まつりやブルーライトアップなどの講座・イベント情報を広報やSNS等を使用しPRした。
- 神戸電鉄三木駅のデジタルサイネージにて『手話言語の国際デー』『手話まつり』や『三木市しゅわちゃんねる』の情報を掲示。
- 9月11日(月)～22日(金)には、庁内放送にて三木市共に生きる手話言語条例やイベントについて呼びかけを行った。
- 広報みき9月号で特集記事を掲載した(次ページ)













▲普通文学校にシリームに入力された音声はAIで判読され、文字情報によって表示される。読解機能は日々向上している

### 今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩

「AI」が「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。AIは「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。

「AI」が「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。AIは「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。



代表取締役 佐藤 美代子

「AI」が「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。AIは「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。今後、5〜10年でコミュニケーションを支える技術は急激に進歩する。



AIが「コミュニケーション」を支える技術として急激に進歩している。

### 激しい差別は減ったが——よりよい社会をめざすために

「差別」が「よりよい社会」をめざすために減った。激しい差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。

「差別」が「よりよい社会」をめざすために減った。激しい差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。



代表取締役 佐藤 美代子

「差別」が「よりよい社会」をめざすために減った。激しい差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。差別は減ったが、よりよい社会をめざすために。

NET119緊急通報システム  
視覚や聴覚の障害により、音声通話で緊急通報が困難な方へスマートフォンや携帯電話未所持の方へ、どこからでも119番通報できるサービスです。  
① 119番通報 緊急連絡先 02-0110 ② 02-9167

電話リレーサービス  
聞こえない人と聞こえる人の会話を通話オペレーターが手話や文字と通訳を介して、電話で両方向にやり取りをします。特約には聴覚のスマートフォンアプリのダウンロードが必要ですが、詳しくお問い合わせください。  
① 02-9167 ② 02-9167

広報みき2023年9月号は第71回兵庫県広報コンクール広報紙部門（市の部）佳作を受賞しました

## ②ユニバーサル動画の配信

<令和5年度の実施状況>

・令和5年度は各課がどんな業務を行っているか分からないという市民からの意見があったため、各課に声をかけそれぞれ伝えたい内容を動画にし、作成している。

(P13参照)

・担当課の職員に手話で自己紹介を行ってもらい直接説明してもらうことで市民に身近に感じてもらい、内容も伝わりやすさを工夫した。

・市民課前とみっきいホール前のテレビにて動画を流し来庁者に見ていただき啓発を行う。

※『三木市しゅわちゃんねる』の動画作成について令和5年度は、所管課に原稿を依頼し、打ち合わせ・撮影は、手話サークル「みき」に委託、障害福祉課が編集と共同で作成しています。

# ユニバーサル動画『三木市しゅわちゃんねる』とは？

## これまで

市政情報の発信は広報紙やチラシなど活字によるものがほとんど



※聴覚に障がいがある方には活字での情報を認識することが難しい場合があります。特に、手話で日常のコミュニケーションをされている方には、手話で伝達した方がわかりやすいです。



## これから

これまでの方法に加えて、  
字幕のついた手話動画でわかりやすく情報を把握



# 令和5年度ユニバーサル動画内容

	テーマ	関係課	配信日時
1	みっきい夏まつり2023 開催！	市民協働課	2023年 7月18日
2	教えて！ゴミの分別 ～資源ごみ編～	環境課	2023年 8月1日
3	ヘルプマークを知っていますか？	障害福祉課	2023年 9月21日
4	三木市の有料スポーツ施設	都市政策課	2023年 10月25日
5	図書館へ行ってみよう	中央図書館	2023年 11月27日
6	NET119緊急通報システムについて	消防署 警防課	2023年 12月5日
7	下水道の役割と正しい使い方。ちょこっとマンホールカードの紹介	下水道課	2024年 1月26日
8	路線バスの便利な支払い方法について	交通政策課	2024年 2月9日
9	市税について	税務課	2024年 3月8日
10	市議会を手話通訳で傍聴しませんか	議会事務局	2024年 3月22日

### ③手話啓発に関するポスターを募集

<令和5年度の実施状況>

- ・啓発講座等で呼びかける。
- ・サマースクールにて声を掛ける。
- ・ポスター募集の案内（※下記のは小学生用）に『三木市しゅわちゃんねる』の二次元コードを付け職員向け啓発講座にて配布した。 申込者 低学年 1名 中学生 12名

みきしとも いきるしゅわげんごじょうれい  
三木市共に生きる手話言語条例

けいはつ ぼしゅう  
啓発ポスター募集



**テーマ** 『手話や聴覚障がい（耳が聞こえないこと）についてみんなに知ってもらえるように自由に書いてみよう』

**紙の大きさ** 画用紙4つ切り

**画材** 自由

**応募方法** 応募用紙に記入し切り取って作品の裏に貼って学校で決められた日に提出してください。

※応募いただいた作品は原則として返却いたしません。

問い合わせ先：三木市健康福祉部障害福祉課（担当：稲垣）  
TEL（代表）82-2000 FAX89-2449

**昨年度作品**



三木市公式 YouTube チャンネル  
『三木市しゅわちゃんねる』





- イ 市民が手話に親しむことができるよう、手話に関する講座や講習会等を開催し、手話に対する認知度を高める。

#### ④手話まつりを開催

<令和5年度の実施状況>

今年度は謎解きゲームを初開催。

日時：令和5年9月24日（日）

（午前）10時～12時 （午後）1時半～4時

場所：三木市立中央図書館

内容：午前 手話体験  
要約筆記体験  
指文字名刺作り  
絵本の読みかたり

午後 謎解きゲーム

参加者：午前 17名 午後 38名

#### 午前：各体験の様子





## 午後：謎解きゲームの様子



## ○謎解きゲームのアンケート（一部抜粋）

- ・ ヒントがどれなのかわからなかったが、聞こえる聞こえないにかかわらず一緒に力を合わせて出来て良かった。
- ・ 係の人がヒントをくれたので良かった。場所や時間も丁度いいと思った。
- ・ すごく考えられていてビックリした。
- ・ 違う場所に移動したり楽しかったです。
- ・ ちょっと難しかったけどとても面白く、ろうの方ともコミュニケーションがとれて良かった。

## ⑤ブルーライトアップにて啓発

9月23日は手話言語の国際デー。  
令和5年度は、「世界そして日本を青色に！—手話言語をブルーライトで輝かせよう—」をテーマにしたライトアップ啓発イベントを開催。シンボルカラーのブルーは、「癒し」「希望」「世界平和」を表す色。

日時：令和5年9月22日（金）～28日（木）

場所：三木市役所 正面玄関前オブジェ

(株)岡田金属工業所 正面玄関前時計台



- ・9月11日（月）～22日（金）まで市内放送にて呼びかけた。
- ・9月の広報に掲載しPRを行う。

## ⑥絵本の読みかたり『手話でみんなのおはなし会』 開催

<令和5年度の実施状況>

- ・絵本の読みかたりを年4回行う  
(5月・7月・9月・2月)

絵本の読みかたりの様子

### 実施詳細

- ・令和5年5月7日(日)
  - 「ぼくの にんじん」
  - 「しろくまちゃんのほっとけーき」
  - 「ぐるんぱのようちえん」
  - 「しょうぼうじどうしゃじふた」
- ・令和5年7月15日(日)
  - 「しょうぼうじどうしゃじふた」
  - 「赤ずきんちゃん」
- ・令和5年9月24日(日)
  - 「ふとんやまトンネル」
  - 「こぞうさんのおきょう」
  - 「だるまちゃん と てんぐちゃん」
- ・令和6年2月11日(日)
  - 「つきのか が やくよる」
  - 「かさじぞう」
  - 「とんとんとめてくださいな」



## ⑦市民向け手話啓発講座の実施

<令和5年度の実施状況>

・今年度は、令和6年度の手話奉仕員養成講座の曜日に合わせて、3月9日土曜日午後に開催した。

年 度	手話啓発講座の参加者/次年度の奉仕員参加人数
平成30年度	7人/1人
令和1年度	13人/1人
令和2年度	コロナ禍の為中止
令和3年度	14人/1人
令和4年度	15人/1人
令和5年度	15人/11人

### ※講座の様子



## (2) 市民が手話により情報を取得し、意思疎通を図る機会を拡大するための施策

(手話条例第3条第1項第2号)

ア 市の行事等に積極的に手話通訳者等を派遣する

### ⑧市が主催する行事等に手話通訳者等を派遣

<令和5年度の実施状況>

・庁内全職員対象研修会または個人のスキルアップのための研修に対しても通訳依頼あり。設置通訳者が声をかける前に通訳依頼があったり、通訳が必要かの相談を受けることが増えた。

研修会8回

・市の行事等に主催者（所管課）より手話通訳派遣の依頼あり。

24件のべ派遣人数53人



イ 市役所等で、手話が使いやすい環境づくりを進めるため、市職員に対する手話に関する講習会を実施する

## ⑨消防署員向け手話研修会を実施

<令和5年度の実施状況>

- ・ 4回実施 8月24日(木) 広野分署 7名  
8月29日(火) 本署 17名  
8月31日(木) 吉川分署 13名  
10月3日(火) 本署 11名
- ・ 研修内容に実際の現場と同じ3人1組で実践形式の模擬を行った。
- ・ 今回、救急救助課よりよくある事例を聞き模擬に使用。
- ・ NET119や搬送の時に使用される言葉を手話で覚え、ろう講師とシュミレーションしてもらう。
- ・ 何年も続けて参加している署員もおり、搬送時救急車の中で筆談ができるようホワイトボードを設置し対応するなど、聴覚障がい者に対する理解も深まっている。

### ※研修の様子



## ⑩市職員向けに手話啓発講座等を実施する

<令和5年度の実施状況>

- ・入庁2年目の職員また興味がある職員対象に手話研修会を実施する。
- ・11月21日（火）午前（11名）・午後（16名）2回実施。

## ⑪市職員の手話検定取得を目指す

<令和5年度の実施状況>

- ・名称「放課後しゅわる」

手話検定5級取得を目指す事が目標だが、その前にまずは、楽しく手話を覚えてもらい、聴覚障がい者の方への理解・対応方法などを学んでもらう事を目標にした。

申込者は25名。平均出席者15名。

5月～就業後隔週木曜日 計11回実施。

5級受験者 4名、合格者4名

## ※アンケート・感想（17名回答）

- ・なかなか参加できなかったが、自由参加な分お休みしても参加しやすく、前の振り返りを学習会の前にしてもらったのでついていきやすかった。
- ・自分の手話が相手に伝わった時は感動しました。
- ・すごく楽しかった。世界観が広がった。

## ※講座の様子





## 全国手話検定試験とは？

・2006（平成18）年から始まる。  
社会福祉法人全国手話研修センターが行っている。

### ・試験の目的

手話ができる人が一人でも増えることを願って、ろう者が安心して暮らせる社会、ろう者が生活のいろいろな場面で、手話でコミュニケーションができる社会（情報バリアフリーの社会）をつくることをめざしている。

手話検定5級  
挨拶や自己紹介を話題に会話ができる

手話検定4級  
家族との身近な生活や体験を話題に会話ができる

手話検定3級  
日常生活の体験や身近な社会生活の経験を話題に会話ができる

2級・準1級・1級となる

- ウ 小学校・中学校・特別支援学校において、子供たちが手話と親しみ、学ぶ活動の実施及び教職員に対する手話に関する研修の機会を提供する

## ⑫小学校・中学校・特別支援学校の児童及び生徒に対し手話学習を実施

### <令和5年度の実施状況>

(1) 7/7	自由が丘東小学校	4年生	48名
(2) 7/11	別所小学校	4年生	52名
(3) 9/5	三木東中学校	1年生	89名
(4) 9/6	緑が丘東小学校	4年生	72名
(5) 10/2	三木小学校	4年生	50名
(6) 10/3	自由が丘小学校	4年生	75名
(7) 10/20	緑が丘小学校	4年生	60名
(8) 10/24	広野小学校	4年生	54名
(9) 10/27	平田小学校	4年生	58名
(10) 11/7	自由が丘中学校	1年生	114名
(11) 12/13	吉川小学校	4年生	30名

小学校 9校 中学校 2校 計11か所 702名

### ⑬小学校・中学校・特別支援学校の教職員に対し 研修会を実施

<令和5年度の実施状況>

- ・年度初めに校園長会にて案内を行った。
- ・7月28日（金）実施
- ・教職員 7名参加

### ⑭市内の高等学校の生徒に対し手話学習を実施

<令和5年度の実施状況>

- ・高校生への啓発講座は実施できなかったが、2月4日(土)のイベント『超福祉の学校@みき』(P36)にボランティアとして三木高校生(3名)に参加いただいた。

- エ 市内の事業所等において、手話に関する理解が深まるよう、チラシの配布や事業所などが行う手話講習会の開催を推進し、支援する

### ⑮事業所に対し手話啓発講座実施

<令和5年度の実施状況>

- ・4/22（土）ワークショップ絆 3名参加
- ・11/24（金）(株)ダイナックパートナーズ  
6名参加

(3) 手話通訳者の配置の拡充及び処遇改善など手話による意思疎通支援者のための施策  
(手話条例第3条第1項第3号)

ア 手話通訳者及び要約筆記者等を育成する

⑯設置手話通訳者等の配置

<令和5年度の状況>

・設置手話通訳者

会計年度任用職員1名(常勤)

会計年度任用職員3名(交代)

※手話通訳士(2名)・手話通訳者(2名)

常時(月～金)2名配置

8:30～17:00

設置手話通訳者対応数

R2年度 267件      R3年度 303件      R4年度 326件

R5年度 232件

・設置要約筆記者

会計年度任用職員2名(交代)

(月・木・金)1名配置

8:30～17:00

設置要約筆記者対応件数      R5年度 69件

<設置対応内容>

- ・窓口対応
- ・来庁者への情報提供
- ・他課への同行通訳
- ・訪問同行通訳      など

## ⑰登録手話通訳者・要約筆記者の登録数を増やす

<令和5年度の状況>(3月末現在)

・手話通訳者1名、要約筆記者2名登録

現在・登録手話通訳者 17名

通訳件数 348件

・登録要約筆記者 13名

通訳件数 159件

## ⑱手話奉仕員養成講座の開催

<令和5年度の実施状況>

・5月～3月末 毎週木曜日

10:00～12:00 計40回 開催

・受講者 16名 修了者 14名

## ⑲手話奉仕員養成講座の講師養成

<令和5年度の実施状況>

・兵庫県主催の講師養成講座の開催なし。

・現在講師数 6名

## ⑳手話通訳者養成講座の開催

<令和5年度の実施状況>

- ・北播磨手話通訳者養成講座  
スキルアップ講座 2名・通訳I 受講者なし  
令和5・6年度 多可町にて開催。
- ・統一試験前対策講座を三木市にて開催（計5回）。  
受講者数三木市 3名 市外 4名参加。

## 手話通訳者全国統一試験合格者(兵庫県)

2021年

合格者 1人/1人  
全国合格率 20.43%

2022年

合格者0人/1人  
全国合格率 18%

2023年

合格者0人/2人  
全国合格率 11.93%

※毎年12月第1土曜日に全国統一試験開催

# 手話通訳者合格への道

## 手話奉仕員養成講座（入門・基礎 計40回）

入門：手話で自己紹介ができ、簡単な会話ができることを目指します。

基礎：手話の基礎文法の学習に入ります。ろう者と日常会話ができることを目指します。



## ステップアップ講座

手話奉仕員として活動している方で、手話通訳者をめざすきっかけづくりのための講座です。



## 手話通訳者養成講座

### 通訳Ⅰ（32講座＋4講義）

日常生活での手話通訳が可能なレベルを目指します。

### 通訳Ⅱ（30講座＋4講義）

一般の難しい内容を含んだ日常場面での手話通訳が可能なレベルを目指します。

### 通訳Ⅲ（10講座＋1講義）

あらゆる聴覚障がい者を対象として手話通訳ができることを目指します



## 全国手話通訳統一試験対策講座（市として年5回開催）



## 全国手話通訳統一試験（毎年12月第一土曜日）

手話通訳養成講座受講済みが条件



合格後、市に通訳者として登録

## 手話通訳士試験（毎年 筆記試験1回 実技試験1回）



## ※参考資料

手話通訳者全国統一試験 合格者概況									
試験		全国			兵庫県			三木市 合格者	
		受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%)		
平成19年	2007			17.00	第1回			23.00	3
平成20年	2008			28.40	第2回			32.70	1
平成21年	2009			11.80	第3回			20.60	0
平成22年	2010	1,584	428	27.00	第4回	109	20	18.30	0
平成23年	2011	1,507	486	32.20	第5回	105	28	26.70	3
平成24年	2012	1,471	242	16.50	第6回	93	8	8.60	0
平成25年	2013	1,554	277	17.82	第7回	108	19	17.60	0
平成26年	2014	1,504	177	11.77	第8回	93	9	9.68	0
平成27年	2015	1,618	292	18.05	第9回	114	16	14.04	1
平成28年	2016	1,713	247	14.42	第10回	151	15	9.93	0
平成29年	2017	1,800	232	12.89	第11回	132	19	14.39	0
平成30年	2018	1,762	316	17.93	第12回	120	26	21.67	0
令和元年	2019			20.04	第13回	127	24	19.00	1
令和2年	2020	1,348	266	19.73	第14回	90	16	17.73	0
令和3年	2021	1,444	295	20.43	第15回	88	16	18.80	1
令和4年	2022	1,535	281	18.31	第16回	92	17	18.48	0
令和5年	2023	1,690	256	15.15	第17回	109	13	11.93	0
平均				18.79				17.83	

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格者概況					
試験			受験者数	合格者数	合格率(%)
第1回	平成1年	1989	1,082	197	18.2
第2回	平成2年	1990	640	124	19.4
第3回	平成3年	1991	541	111	20.5
第4回	平成4年	1992	411	81	19.7
第5回	平成5年	1993	378	93	24.6
第6回	平成6年	1994	430	70	16.3
第7回	平成7年	1995	510	74	14.5
第8回	平成8年	1996	606	57	9.4
第9回	平成9年	1997	619	86	13.9
第10回	平成10年	1998	726	71	9.8
第11回	平成11年	1999	893	50	5.6
第12回	平成12年	2000	1,018	63	6.2
第13回	平成13年	2001	910	40	4.4
第14回	平成14年	2002	1,008	98	9.7
第15回	平成15年	2003	1,124	117	10.4
第16回	平成16年	2004	1,109	113	10.2
第17回	平成17年	2005	1,011	116	11.5
第18回	平成18年	2006	1,034	228	22.1
第19回	平成19年	2007	961	246	25.6
第20回	平成20年	2008	897	297	33.1
第21回	平成21年	2009	932	311	33.4
第22回	平成22年	2010	863	184	21.3
第23回	平成23年	2011	920	182	19.8
第24回	平成24年	2012	948	105	11.1
第25回	平成25年	2013	929	190	20.5
第26回	平成26年	2014	956	106	11.1
第27回	平成27年	2015	1,076	23	2.1
第28回	平成28年	2016	1,085	119	11.2
第29回	平成29年	2017	1,037	85	8.2
第30回	平成30年	2018	1,105	108	9.8
第31回	令和1年	2019	1,100	121	11.0
	令和2年	2020			
第32回	令和3年	2021	1,071	103	9.6
第33回	令和4年	2021	1,097	146	13.3
第34回	令和5年	2021	1,041	127	12.2
平均					14.1

## ②要約筆記者養成講座の開催

<令和5年度の実施状況>

・北播磨パソコン要約筆記者養成講座（北播磨5市1町共催）を多可町にて開講予定だったが、申込者が少なく、開講せず。

代替講座として2講座を企画する。

- ・ステップアップ講座（全6回）  
（令和4年度統一試験合格者・通訳歴が浅い方対象）  
受講者 6名
- ・フォローアップ講座（令和5年度統一試験対策講座）  
申込者0のため開講せず。

養成講座の申し込みが少ない状況が続いているため、北播磨5市1町で相談し、多可町・小野会場にてパソコン要約筆記啓発講座を1回ずつ企画する。

多可会場は開講条件（3市参加）が満たされず、開講せず。

小野会場は開講（受講者10名うち三木市は3名）

## ②登録手話通訳者の知識・技術の向上

<令和5年度の実施状況>

○三木市登録手話通訳者現任研修

☆R5年8月27日(日) 『読み取り通訳技術』

兵庫県聴覚障害者協会講師

楠 圭子氏

参加者 8名

☆R6年1月14日(日) 『聞き取り表現①』

関西学院大学 手話言語研究センター 前川和美氏

参加者 10名

☆R6年1月21日(日) 『聞き取り表現②』

関西学院大学 手話言語研究センター 前川和美氏

参加者 10名

☆R6年2月18日(日)

『聴覚障がい者に関する社会情勢や制度』

兵庫県難聴者福祉協会 副理事長 原 弘幸氏

(手話通訳者・要約筆記者合同研修会)

参加者 手話 13名 要約 6名 計19名

○北播磨登録手話通訳者現任研修

☆7月13日(木)

『手話通訳者の知識』 星 百合香氏

三木市より出席者 2名

☆10月26日(木)

『事例検討』 幸泉 正子氏

三木市より出席者 2名

イ 手話の技術並びに聴覚障害に対する理解を広げるための指導者を育成する

### ②③絵本の読みかたり実施者を支援・育成

<令和5年度の実施状況>

- ・絵本の読みかたりを年4回実施。  
(5月・7月・9月・2月)
- ・中央図書館2階絵本コーナーにて開催。
- ・研修会を3月に実施予定。

### ②④啓発講座等の指導者養成講座

<令和5年度の実施状況>

- ・令和5年度啓発講座講師養成講座  
6月18日(日)実施  
聞こえる講師2名、補助講師1名登録

### ②⑤啓発講座等の指導者研修

<令和5年度の実施状況>

現任研修 R6年2月23日(金・祝)

午前 講義『啓発講師の心構え』

小川 知子氏

午後 意見交換会

## (4) その他

### ②⑥ 手話で本を楽しむ

- ・ 中央図書館にて毎月第3木曜日  
13:30～15:30  
手話通訳者2名（派遣）にて対応  
手話にて様々な本を楽しんでもらう  
（令和2年度～開始・図書館主催）

### ②⑦ 遠隔手話通訳サービス（2年9月30日～

- ・ 遠隔通訳サービスとは  
令和2年9月30日～開始  
きっかけはコロナ禍により、手話通訳の派遣が困難になった際に、ビデオ通話を利用して遠隔での通訳ができるよう、自治体や聞こえない方の要望に応じて開発されたシステム。災害時や感染症拡大時以外にも、離島や遠方の所など派遣が困難な時にも地域の手話通訳者が対応できます。
- ・ 令和5年度 利用者なし



## ㊸NET119登録説明会

NET119とは

・令和3年4月1日運用開始

聴覚や発語に障がいのある方が、自宅や外出先から素早く119番通報ができ、携帯電話やスマートフォンなどのGPS機能を用いて居場所を特定でき、すぐに駆けつけることができます。



日時：令和5年12月3日（日）

10:00～12:00

場所：三木市消防本部

参加者：6名



## ㊸「市政一直線」の動画を手話と字幕で放送

毎月1回FMみっきい(ラジオ)にて市長の思いを放送。聞こえない方にも市政情報を届けるため、手話と字幕で、市民課前・みっきいホール前・YouTubeにて配信。





## ③⑩ひょうごTECHイノベーションプロジェクト

### ◎HYOGO TECH（ひょうご テック）イノベーションプロジェクトとは？

・兵庫県が県内各市町の地域課題解決に向けて民間事業者と手を取り合って解決を目指すプロジェクト。

（令和4年度発足）

### ○三木市の令和5年度のテーマ

#### 『障がいのあるなし関係なく共に楽しめるエンターテイメントの提供』

「聞こえないってどんなことか」への理解を促し、心のバリアフリー化のきっかけづくりにテクノロジーのイノベーションによって困りごとの解決につながる商品の展示・体験会を開催

共同イベント開催

『超福祉の学校@みき』

日 時：2月4日（日）

10：30～16：00

場 所：三木市立教育センター 4階

三木市立中央図書館 1階 視聴覚室

参加者：265名



# 超福祉の学校@みき

SUPER WELFARE SCHOOL @ MIKI

障がいがある方もない方も  
いっしょに最新技術を体験しよう！

東京・渋谷で累計30万人が来場した「超福祉」イベントが三木市にやってくる！思わず「カッコいい！」と乗ってみたいくなる魅力的なモビリティや、最新のテクノロジーやプロダクトの体験に加え、誰もが学びを楽しめる学習ゲームやバリアフリーな図書など、たくさんのコンテンツが集結。障害の有無はもちろん、老若男女どなたでも楽しめる、ワクワクなイベントが盛りたくさん。事前お申込みは不要で、参加は無料。ぜひ会場へ遊びにきてください！

なおこのイベントは、行政が民間事業者と共に地域課題の解決を目指す「ひょうご TECH イノベーションプロジェクト」の一環で実施いたします。



## 2月4日(日) 10:30~16:00

三木市立教育センター4階 大研修室, 中研修室  
三木市立中央図書館1階 視聴覚室

参加費：無料  
申込み：不要  
主催：三木市  
共催：NPO法人ピープルデザイン研究所



問い合わせ：障害福祉課 Tel. 0794-82-2000 Fax. 0794-89-2449 Mail. shogaifukushi@city.miki.lg.jp



イベントホームページ





# 超福祉の学校@みき

SUPER WELFARE SCHOOL @ MIKI



## WizeFloor JP

Relax'Creation project株式会社  
株式会社 NHK エデュケーショナル

wizefloorはデンマークで教員の教材作成の負担を減らす目的で開発された、身体活動・遊び・教育を融合させたインタラクティブ・フロア・プロジェクションを活用したICT教育システムです。2018年から日本とデンマークでコラボレーションし、インクルーシブ教育に活用できるシステムにアップデートしました。



## Antenna

富士通株式会社

Antenna (オンテナ) は、髪の毛や耳たぶ、えり元やそで口などに身に付け、振動と光によって音の特徴をからだで感じる全く新しいユーザインタフェース。音の大きさを光と振動の強さに変換するデバイス。聞こえる・聞こえないに関わらず、音楽のリズムやパターンなどをからだで感じるすることができます。



## トラベルスクーター Luggie

小型で、折りたたんで、どこにでも気軽に持っていきける電動カート「Luggie(ラギー)」。とにかくコンパクトに乗っていることに気づかれないほど。ショッピングモール、広い敷地の公園や展示会、そして旅行先などで「ラギー」があれば、疲れ知らずで自分のやりたいことをおもいっきり楽しめます。



## Clap Light

金箱 淳一/Junichi Kanebako

拍手で光るコンサート演出用デバイスです。暗闇で拍手が見えることで、聴覚に障害がある人も、音楽のリズムを見て感じることができます。クラップライトは「発電」を体感するワークショップ用のキットとしても展開しており、制作したクラップライトを使って、拍手の光で絵を描く事もできます。



## kitpas

協力: 日本理化学工業

キットパスは窓ガラスに大きくのびのびと絵を描くことができる「おえかきツール」です。当日は三木市中央図書館の1階のガラスに、イラストレーターのごゆりさんと一緒に自由にお絵かき。イベントの終わりに、みんなでガラスを拭いてキレイにします。



## ごゆり

イラストレーター/コミュニケーションデザイナー  
兵庫県三木市出身。大阪を拠点に、滋賀県や徳島県、栃木県などの官公庁をはじめ、企業などのキャラクターデザインや広報の制作統括を行う。  
2012年から兵庫県三木市の「ふるさと三木応援大使」に就任。三木市の広報、土産企画など参画。2015年12月、三木市に「ごゆるりぎやうらい」オープン。



## りんごプロジェクト

NPO法人ピープルデザイン研究所

バリアフリー図書の体験会をおこないます。大きな文字で書かれた本や布の絵本、点字つき絵本やLLブック、タブレットなどで読むマルチメディアデージーなど普段触れることがない本を楽しむことができます。こどもも、大人も、ひとりでも来て、みんなで来て、大歓迎です! 福祉・教育関係の皆様や企業の皆様も、ぜひお越しください!





## イベントの様子

### <りんごプロジェクトによる読書体験の様子>

○りんごプロジェクトとは、点字の本やデジタル図書など、障がいのあるなしに関わらずすべての人に読書の楽しさを感じていただくプロジェクトです。



### <Ontennaによる音をからだで感じる体験の様子>



### <WizeFloor JPによる床に投影した映像を使った体験の様子>



### <デフテニスジャパン関西支部コーチによる手話体験>